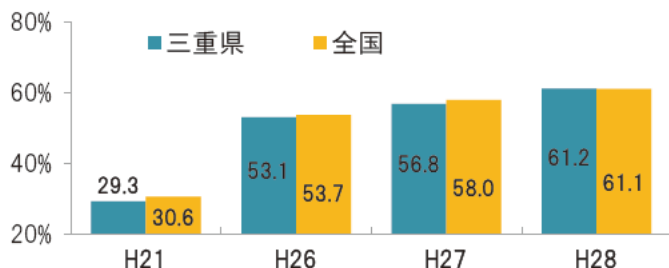


小学校編  
テーマ5

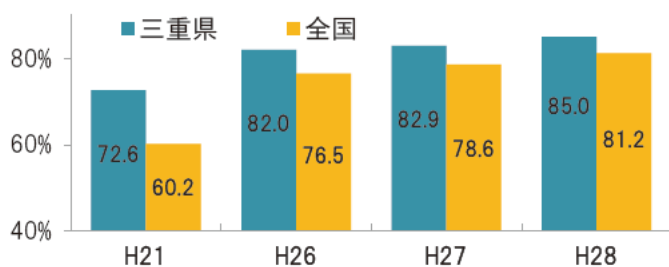
# 子どもがスマホを持ちたいと言ってるんだけど

＜資料1＞平日、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている児童生徒の割合（平成21年度は、携帯電話）

【小学校】



【中学校】



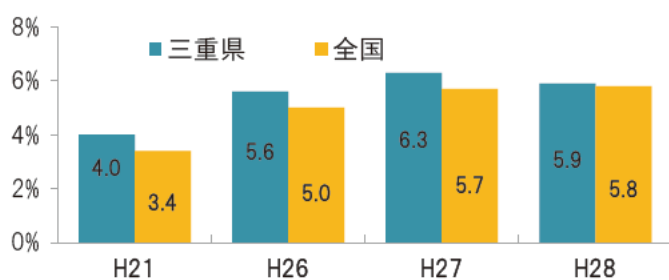
資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」(平成28年度)

平日、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている児童生徒の割合(平成21年度は、携帯電話)は、全国よりも高い傾向にあります。

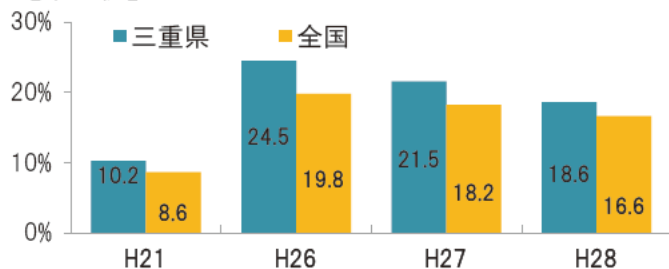


＜資料2＞平日、一日当たり3時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている児童生徒の割合

【小学校】



【中学校】

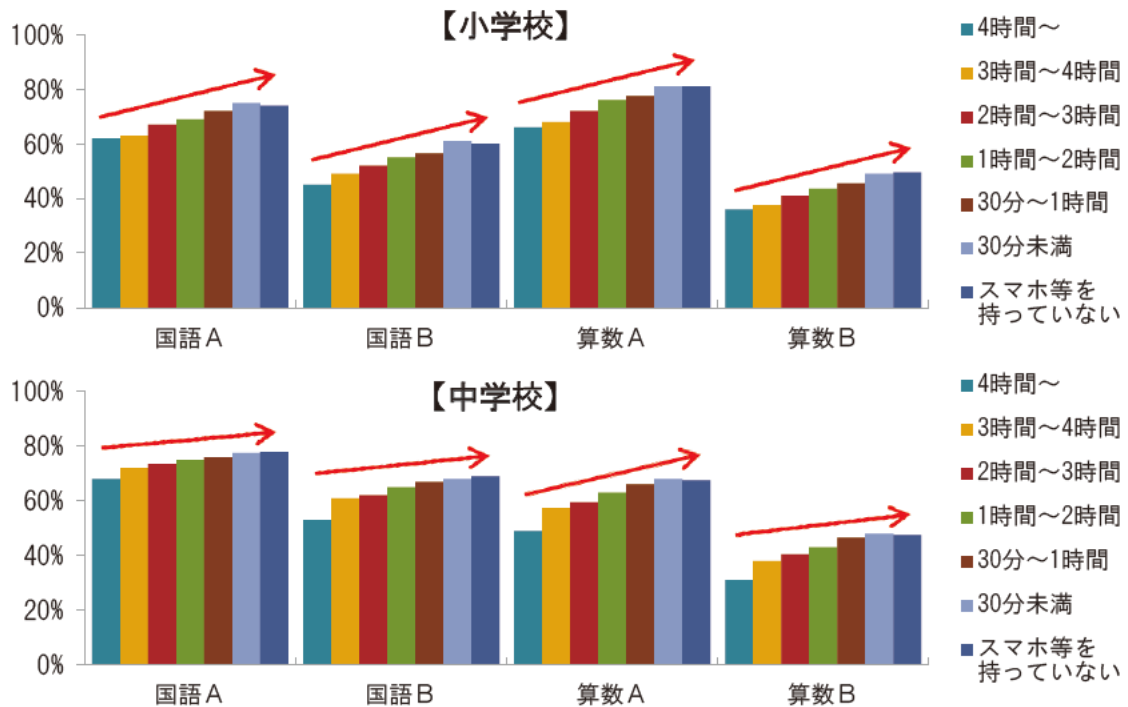


資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」(平成28年度)

「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます。）」という質問に、「3時間以上」と回答した児童生徒の割合については、昨年度より改善しているものの、全国平均を上回っています。



### ＜資料3＞スマホ等の使用時間と学力調査各教科の平均正答率



スマホ等の使用時間は、家庭での学習時間にも影響していると考えられ、平均正答率との関連も顕著に見られます。**使用時間が短いほど、全ての教科の平均正答率は高い傾向にあります。**



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」(平成 28 年度)

## コラム

### スマホになりたい

電話やメールだけでなく、SNSやインターネット、ゲームなど、1台で何でもできるスマホは便利なものです。ちょっと空いた時間には、つついスマホを眺めてしまうという人も多いのではないのでしょうか。

しかし、度が過ぎるスマホの利用は、知らず知らずのうちに大切なコミュニケーションの場を失わせてしまっているかもしれません。

シンガポールのある小学生が書いた「スマホになりたい」という作文は、スマホに夢中になって自分に構ってくれない両親を見て、自分がスマホだったらいいのと思う子どもの率直な気持ちが描かれたものです。この作文は、多くの人々に共感と気づきを呼び、日本でも絵本として出版されました\*。

(\*) のぶみ著「ママのスマホになりたい」(WAVE 出版・平成 27 年発行)

自分だけの時間を確保し、スマホを使いながらほっと一息つくことは、もちろん大事なことです。しかし、日々成長しながら変化している子どもの姿は、その時その時だけの貴重なものです。少しだけスマホのことは忘れて、子どもと向き合うかけがえのない時間もぜひ大切にしたいですね。

